

びゅあ各館 事業レポート 令和元年度事業を 振り返って

■ びゅあ総合主催事業

【5月】

男女共同参画ネットワークセミナー基礎講座

「笑って考えよう！男女共同参画社会～男性の家事・育児が社会を救う～」

■講師：瀬地山角さん（東京大学教授）

男女共同参画を基礎から学び、地域の推進活動につなげていくための講座として、ジェンダー論研究者の瀬地山角さんをお迎えし、ご講演いただきました。

日本テレビ「世界一受けたい授業」の東大生 100 人へのアンケートで東大の人気講義 No.1 に選ばれたばかり、参加されたほとんどの方が瀬地山さんのユニークな話術に引き込まれ、演題のとおり、多くの笑いを交えながら男女共同参画社会実現に向けた課題を考える時間となりました。そして、男性の家事育児能力の向上や女性の働き方などに関して多くの実例を挙げながら、この国の今後のライフスタイルの変革への提唱と警鐘をいただくことで、“男女共同参画”という言葉をあらためて捉え直す講演会となりました。



【12月】

親子で学ぶ男女共同参画講座

「多様な性を親子で学ぼう！“いろいろな性”ってなんだろう？」

■講師：飛嶋一步さん（CoPrism 代表）

今年度からの新事業として、次世代を担う子どもたちが、人権の尊重や相互理解等を深めることができるような学習活動の機会として、「多様な性」について親子で学ぶ講座を開催しました。

山梨県内で活動する LGBTQ+ の自助団体である CoPrism 代表の飛嶋一步さんを講師にお迎えして、“性ってなんで大事なの？”“自分の体と性”などについて、関連する絵本等の読み聞かせを交えながら、小さな子どもにも分かりやすく丁寧にお話をいただきました。

飛嶋さんの優しく穏やかな語りの中、「この世界にはいろいろな人が生きて」ということを親子でふれあいながら学んだことで、終始和やかな空気に包まれた学習講座となりました。



令和元年度も、びゅあ 3 館では男女共同参画を推進するさまざまな事業を開催いたしました。

このページでは、その中のほんの一部を振り返ってご紹介します。

【2月】

学生の企画による学生のための男女共同参画講座

共催：山梨学院生涯学習センター

「居場所を奪われた若者たち～子どもの権利から考える不登校～」

■問題提起・コーディネーター：荒牧重人さん（山梨学院大学法学部教授）

■パネリスト：鈴木正洋さん（山梨不登校の子どもを持つ親たちの会「ぶどうの会」代表）、芦沢郁哉さん（NPO 法人 bond place 理事）

毎年、びゅあ総合で社会教育実習を行っている山梨学院大学の学生が、実習期間中に企画・立案する男女共同参画推進講座案を実際に講座化し、若年層へ向けた男女共同参画推進を目的とした新事業として開催しました。



子どもの権利に関しての第一人者でもあるコーディネーターの荒牧さんからの問題提起、不登校や子どもの居場所づくりを支援する鈴木さん、芦沢さんの活動報告、参加者を交えた活発なディスカッションなど、今後の課題解決に繋がるとても有意義な場になったとともに、学生の参加も数名有り、若年層に向けた男女共同参画推進に繋がる一歩となる学習講座となりました。

■ びゅあ峡南主催事業

【6月】

男女共同参画推進月間記念講演会

「男女共同参画総論～基本法施行から 20 年、平成が終わり新たな時代に思うこと～」

講師：萩原なつ子さん（立教大学教授）

男女共同参画推進月間記念講演会として、立教大学教授の萩原なつ子さんをお招きしました。

萩原さんは、大学教授はもとより地方行政や NPO 法人などでの職務経験があり、男女共同参画社会基本法の施行から 20 年、かつ“平成”が終わり新たな時代“令和”を迎えたこの機会に、我が国の男女共同参画をめぐる潮流についてご講演をいただきました。

男女共同参画に関する基本理念や用語の解説などを丁寧に行いつつ、時折笑いや歌を織り交ぜていくという萩原さんの講演スタイルは、今回も健在でした。



【8月】

地域活性化事業 講演会

「夫婦で認知症予防！地域の活力はシニア世代の健康維持から」

講師：大野孝徳さん（エアアシスト理事長、日本介護予防協会中部支部長）

南部町教育委員会（なんぶいきいき大学）との共催事業として、講師にはエアアシスト理事長で日本介護予防協会中部支部長の大野孝徳さんをお招きしました。

シニア世代が健康体で家庭生活を送り、仕事や地域活動などで活躍できるよう、認知症予防を前提とした夫婦で簡単に取り組める脳力トレーニングなどを教えていただきました。介護にかかる家族の身体的・精神的な負担を考えると、認知症にならないための対策を早期に実践することは極めて重要なのです。

大野先生はこういった講演会などで全国を飛び回っており、受講者とのやり取りも実に軽妙でした。随所で会場から爆笑が起こり、介護福祉士として笑いのツボも心得ているようでした。



【10月】

ぴゅあ峡南フェスティバル 2019 記念講演会

「我が町のコト、男女共同参画のコト、映画をとおして考えよう！矢崎仁司監督&石阪督規教授トークライブ」

講師：矢崎仁司さん（映画監督・脚本家）、石阪督規さん（埼玉大学教授）

今年度の記念講演会は、講師に富士川町在住で映画監督、脚本家である矢崎仁司さんと、埼玉大学教授で多くの自治体の男女共同参画やまちづくりなどに携わる石阪督規さんをお招きし、トークライブ形式で開催しました。

矢崎監督のふるさと富士川町（旧鰍沢）に対する思いや、現役で活躍されている映画監督ならではの貴重なお話を伺うとともに、矢崎監督と富士川町民らが制作に携わった映画「富士川日記 2018“はんぶん”」も上映されました。夫の定年退職を機に家事や介護を分担することにした夫婦の気持ちの変化や繋がりを描いた物語で、男女共同参画の色彩も見える作品でした。

トークライブでは、矢崎監督の生真面目な性格が会場に伝わり、石阪教授の話の引き出し方（テクニック）に魅了された講演会でした。



ぴゅあ富士主催事業

【6月】

男女共同参画推進月間記念講演会

『介護する息子たち～その課題を考える～』

講師：平山 亮さん（東京都健康長寿医療センター研究所福祉と生活ケア研究チーム（介護・エンドオブライフ研究）研究員）

男女共同参画推進月間記念講演会として、東京都健康長寿医療センター研究所福祉と生活ケア研究チーム（介護・エンドオブライフ研究）研究員の平山 亮さんをお招きしました。

男性学の研究や講師が行なった聞き取り調査などの情報から導き出される「介護の問題」について男女の考え方の違いによる介護に対する向き合い方について学びました。

共感できることが多く、これから直面するであろう介護について考えるきっかけになりました。



【10月】

ぴゅあ富士フェスティバル 2019 記念講演会

『子育ては誰でも初心者！～音楽と共に歩んだ～「子育て奮闘記」』

講師：前田タクヤ・大嶽香子さん（山梨県在住音楽家 夫婦）

ぴゅあ富士フェスティバルの記念講演会として、音楽家の前田タクヤ・大嶽香子さんをお招きしました。

ご夫妻も初めは子育て初心者で、何も分からないところから始まりましたが、近くの子育て経験者からアドバイスをいただいたことや子育て日記のコメンテーターを経験していく中で、いろいろなことを学んでいったそうです。今回の講演会では、講師二人が音楽家なので、楽しさ溢れる演奏で、会場とステージとの“一体感”が素晴らしかった。この音楽が講演の合間に入ったことにより、子育てと音楽の楽しさが参加者に絶妙に伝わり、フェスティバルを締めくくるにふさわしい講演会となりました。



【2月】

男女共同参画ネットワークセミナー実践講座

「持続可能な地域社会をめざして～いま＜男女共同参画的＞実践力が地域を変える～」

講師：石阪督規さん（埼玉大学教授）

地域社会が持続可能なコミュニティとして生き残るためには、男女共同参画の視点でまちづくりを進めていくことが不可欠です。そこでこれからの自治体や地域での推進活動をどのように進めていくべきか、具体的な事例をあげながら、ワークショップを行ないました。いつもとは違う参加者がいきいきと討論している中からたくさんのヒントを見つけ、これからのまちづくりに生かされると感じました。



一年間、ぴゅあ各館の事業にご参加いただき、ありがとうございました。令和2年度もよろしくお願いいたします！